

交流電源はもちろん直流電源としても使用可能な 小型軽量のコンパクトAC/DC電源

コンパクトAC/DC電源 ASRシリーズ

TEXIO GWINSTEK
株式会社 テクシオ・テクノロジー
TEXIO TECHNOLOGY CORPORATION

ASRシリーズは、インバーター方式を採用した出力容量500VA/1000VAのコンパクトAC/DC電源です。豊富な測定機能、高調波解析モード、シーケンスやシミュレーションのテスト機能と任意波形モードなど様々な交流波形をサポート。さらに、交流+直流、内部+外部信号など組み合わせにより9種類の出力モードを備えています。高機能ながら、カラー液晶ディスプレイ搭載により、直観的で使いやすい交流・直流安定化電源です。

コンパクトAC/DC電源 ASRシリーズ



前面出力用のユニバーサルターミナルオプションを用意しています。

GET-003 ¥16,000(税抜き)



GET-003装着時

※お客様での取り付けとなります。

モデル	価格 (税抜き)	出力電圧/周波数	出力電流	出力電力	インターフェース
ASR501-351	¥ 240,000	交流	5A / 2.5A	500VA	USB + LAN
ASR501-351G	¥ 270,000	(40Hz~999.9Hz)			USB + LAN + RS-232 + GP-IB
ASR102-351	¥ 340,000	0~175V/0~350V	10A / 5A	1000VA	USB + LAN
ASR102-351G	¥ 370,000	0~±250V/0~±500V			USB + LAN + RS-232 + GP-IB

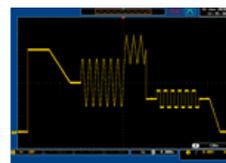
寸法 213mm(W)×124mm(H)×480mm(D) 突起等含まず 質量 約10.5kg

● シーケンスモード

各シーケンス設定は最大999ステップで、各ステップの時間は100μ~999.9999秒の範囲で設定できます。複数のステップを組み合わせることでDC成分を含む複雑な波形を作成できます。10個のシーケンス設定をローカルメモリに保存できます。USBメモリにも保存可能です。



シーケンス設定画面



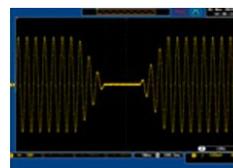
シーケンス実行出力例

● シミュレートモード

このモードは、電圧・位相・周波数の変動など、電源の一般的な異常を6つのステップから生成することができます。一時的な異常の他、繰り返しの設定により周期的な異常として実行することができます。10個のシミュレーション設定をローカルメモリに保存できます。USBメモリにも保存可能です。



シミュレーション設定画面



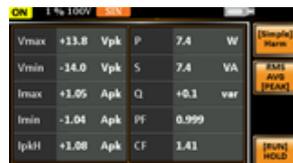
シミュレーション実行出力例

● ディスプレイモード

標準、簡易、高調波の3つのディスプレイモードを持っています。標準モードでは中央に設定が表示され、選択された3つの項目の測定値が表示できます。簡易モードでは、使用可能なすべての項目の測定値が表示され、実効値、平均値、ピーク値の切り替えが可能です。高調波モードでは40次までの高調波電圧、高調波電流の測定値がそれぞれ4ページに分けて表示されます。



標準モード



簡易モード



高調波モード 1ページ



4ページ

● 出力波形

あらかじめ用意された、サイン波、方形波、三角波のほか、パソコンで作成した任意波形(4096ワード)を16波形登録できます。また、ON位相、OFF位相をそれぞれ独立で設定することができます。



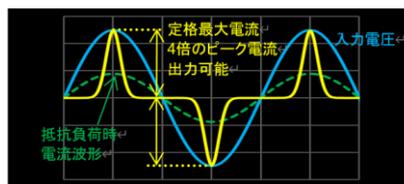
ON位相=45°



OFF位相=225°

● 最大ピーク電流 CF=4

コンデンサ入力型整流負荷に対して、定格最大電流(実効値)の4倍までの最大ピーク電流を流すことができます。(5ms以内)



● T lpeak,ホールド機能

T lpeak,ホールド機能は、Iピーク値の出力までの遅延時間(1ms~60s)を設定し最大値を取得します。測定された値が元の値よりも大きい場合にのみ更新します。この機能は、電源オン時の過渡突入電流を測定するためのものです。

